

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立曳馬小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長の示す学校運営の基本方針について目指す子供像やビジョンなどの説明を受け、しっかりと理解するよう熟議を重ねることができた。
- 本年度も昨年同様に「学校経営構想」をもとに校長先生から説明があり、昨年から大きな変更はなかったので理解できた。もう少し時間があれば、熟議に至り理解が深まるのではないかと感じた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校側で協力してもらいたい案件を更に精査する必要があると感じた。活発な熟議ができたが、協力者を増やす方法を今後話し合いする（熟議する）ことが必要だと感じた。
- CS の協力依頼の内容について、各委員より豊富な情報提供があり熟議を進めることができた。学校支援コーディネーターが地域の情報と協力依頼のマッチングに、オブザーバーが多くの情報と広く曳馬地区への広報に積極的に活動してくれ、年度途中で数多く協力が実現できた。結果として大きく前進ができた。
- CS 協力依頼一覧表はわかりやすく見やすい。窓口となる方が大変ではと感じた。事例を大切にしながら次のステップに発展させていけば今以上の地域に根差したものになっていくのではないかと思います。
- 授業支援について熟議を進めることができ、成果が得られたと思う。学校が地域から支援を得る際の留意事項についても共通理解をすることができ、有意義であった。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 熟議という言葉も段々と馴染んできて、来年度も委員同士意見を出し合う中で情報共有し、より良い学校運営が出来ていくよう努めて参りたい。
- 熟議する時間が増え、多くの意見が交換できた。次年度は情報発信の方法や CS への協力者を増やす方法、学校側との情報交換方法など熟議したいと思った。
- CS の協力依頼を基本に、令和4年度の実績の検証と、さらにバージョンアップの可能性の熟議をしていく。CS の協力依頼以外に、各委員からの協力できる提案を元に、更に熟議をしていく。
- 子どもたちの姿に接する時間を充分得たいと思う。本年度はコロナの影響を受けてなかなか実現できなかったが、来年度こそは、参観会に合わせるのではなく、生の授業中の姿を見せて欲しいし、会議の時間も十分にとってほしいと思う。